

豊かな自然に四季のかおりと舟唄のこだまする村をつくろう

山形県 戸沢村

とざわむら 議会だまり



祝 入学式



2019 No. 131

2019年3月定例会

2p 3月定例会 平成31年度一般会計予算 **40億9,000万円を可決**

3p **予算特別委員会** 一般会計 特別会計

4p **補正予算69,700万円を可決** 条例の設定及び改正について

5p **最上川舟下り懇談会に寄せて** みなさんの請願・陳情

6~11p 一般質問 5期目となる村長の所信表明を……5議員登壇

12~13p **急ピッチで進む災害復旧** 自治功労者を表彰 議会日誌(1月~3月)

14p 花嫁さんに乾杯 荒川 悠さん&佳奈さん夫婦 (名高)

平成31年
3月
定例会

平成31年度予算 40億9,000万円を可決

(一般会計予算、前年度対比11.0%減)

各会計ごとの予算額	会計名	予算額	前年度比
特別会計	一般会計	40億9,000万円	△11.0%
	国民健康保険	11,000万円	0%
	後期高齢者医療	5,000万円	△5.7%
	簡易水道事業	2億5,100万円	13.6%
	公共下水道事業	9,200万円	2.2%
	農業集落排水事業	1億3,000万円	2.4%
一般会計	介護保険	7億1,800万円	6.5%
	予算総額	53億4,200万円	△7.4%

3月定例会は6日から12日までの7日間の会期で行われた。3年目となる「舟下り議会」において、本会議場では船頭さんの法被を着用して、観光PRの一翼を担った。また、3月8日には「舟中意見懇談会」を開催して、農業を中心とした村の考え方や関連団体よりアドバイスを頂き、農所得の拡大や特産品・観光に繋がる取組みについて意見を交わした。

今定例会では、補正予算、当初予算、条例、人事案件等、請願3件が付託され、全議案を可決した。

一般質問には、5議員が登壇し、村長の今後の所信や選挙公約の優先と意気込み、村債残高の危惧、住民福祉の機構改革を目指しているか、職員のモラルや臨時職員の処遇改善が必要ではないか。また、高規格道路の整備と基盤整備事業における今後の考え方を問い、議論を展開しました。



主な予算内容

- 村道除雪や村道改良整備事業 二億八、七四四万円
- 橋梁維持事業 一億六、〇九〇万円
- 子育て支援の充実 (医療費の無償化) 二、五九七万円
- 高齢弱者対策の充実 一、九五九万円
- 小売商業の振興 五〇〇万円
- 村内企業設備環境改善費 一〇〇万円
- 農業指導の充実 三〇〇万円
- 観光振興策 四〇〇万円
- 持家住宅整備の助成 (持家・住宅リフォーム) 一、三〇〇万円
- 共育の振興 (地域・家庭・学校の連携) 四一二万円
- 地区防犯灯修繕等助成金 三二〇万円
- 戸沢地区経営体育成基盤整備事業費(金打防) 一、〇〇〇万円
- 旧古口小学校解体事業
 - ・設計監理 単独 二億一、五二〇万円
 - ・設計監理 単独 一億六、一五〇万円
- 高屋橋撤去工事負担金 (J-R線路に架かる歩道) 一億三、九四〇万円



予算特別委員会

左:岡田副委員長 右:富樫委員長

一般会計

Q 南部地域振興センターの使用料の内訳は。
A 使用している企業の使用料で、六次産業化による使用料は発生しない。

Q 役場庁舎耐震補強工事は、31年設計、32年完成とあるが、災害対策本部として十分な整備計画となっているか。
A 平成24年の診断に基づいて行う工事と合わせ、

特別会計

Q 一階来客用トイレの改修と三階和室を書類倉庫に改修し、防災関連の備えも十分となっています。
A 第5次戸沢村総合整備計画の作成は、4次計画の総括をして計画をしたらどうか。

Q 当然の事だと思いますので、村民の声を委員会に入れて検討していく。
A 草薙地区の登記問題は進展しているのか。

Q 相続人の状態変化に伴いなかなか進まない状況。今後外部委託も考えていく。
A ほんぼ館の修繕場所は何処か、又サウナの設置は考えているか。

国民健康保険

Q 国民健康保険税としての滞納金額と件数は。
A 180万7256円が広域連合移行前の保険税の滞納額で44件分となります。

簡易水道事業

Q 向濁沢地内の管路新

農業集落排水事業

Q 村道内に送水管が埋設され、柵周辺の凹凸があり一般通行に支障があると思います。今後の取り組みについてお聞きします。
A 巡回中に除雪に支障があるところを優先に対応しています。

Q 管路の腐敗など耐用年数で今後の年次計画は在るのか。
A 20数年が経過しており管路におけるカメラの点検や清掃を含め考えており、大規模改修は10〜15年後を予測しております。

介護保険事業

Q 村は予防介護を一生懸命頑張っているよう理解しておりますが、その効果や実績をこの機会に宣伝を兼ね教えてください。
A みんなですっぺ！「健康づくり」を保健センターで実施し、要支援・要介護の方や認知症と診断されている方も、体操や運動を通じ、会話の中から改善の様子もあるよう、今年度延べ3800人を超えております。

Q 私の地区もいろんな内容でサロンの状況を聞きます。生涯学習センターを利用した指導方法の考え方がございましたら教えてください。

Q 集落排水は3地区にあります。夏場にかなり臭いを感じる地区もあり、脱臭装置の対策等はやっているのか。
A 年間の装置点検や修繕を行い、臭いが多少あり

Q この施設は、4月より指定管理の運営となり、今後県の事業を活用した保健センターと同様な運動器具を設置しながら、高齢者と孫世代の交流事業を開催して、サロンのな広場を考えています。
Q 生涯学習センターに会議をするだけでなく、お年寄りや孫や子供たちが一緒に遊べる所も必要だと思います。
A 介護予防になるのであれば、今後総合的に判断し、北部・中部・南部の村全体で元気なお年寄りが増えるよう取り組んでいきたい。

Q 「まごころ荘」入所条件と入所者数や待機者数をお聞きしたい。
A 介護度3以上の方が入所でき、特例的に虐待の事例があった場合は入所が優先される状況です。現在76名程の待機者がおられ、村内の方は50名程です。2月に1回の判定委員会が開催され、優先順位を取り決めて、2〜3年申し込んで入所できないという事も聞いています。



補正予算 69,700万円を可決 総額590,200万円に

3月補正における 平成30年度特別会計別の総額

- ☆戸沢村後期高齢者医療
特別会計補正予算(第2号)
△3,468千円 総額50,845千円
- ☆戸沢村簡易水道事業
特別会計補正予算(第4号)
△670千円 総額236,662千円
- ☆戸沢村公共下水道事業
特別会計補正予算(第2号)
△1,529千円 総額91,417千円
- ☆戸沢村集落排水事業
特別会計補正予算(第2号)
△1,889千円 総額131,226千円
- ☆戸沢村介護保険
特別会計補正予算(第3号)
44,041千円 総額727,600千円

平成30年度 戸沢村一般会計補正予算(第6号)

○主な補正内容(歳出)

議会費	△3,285千円
総務費	△1,213千円
民生費	△10,331千円
衛生費	△21,662千円
農林水産費	775,226千円
畜産クラスター事業費(補)	
土木費	△64,545千円
消防費	△1,354千円
教育費	△8,921千円
災害復旧費	△24,479千円
災害対策総務費・公共土木施設災害復旧費	
予備費	58,256千円

今定例会における条例の設定及び改正について

議第	設定・改正	条例内容	提案理由	採決
15号	設定	戸沢村課設置条例	行政組織の効率化を図るとともに村財政の健全化を資する。	可決
16号	改正	議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例	本条例における職員の通勤に関する規定の整備を図る。	可決
17号	設定	戸沢村森林環境譲与税基金条例	森林環境譲与税の用途を公表するため、基金を設置し、財源の管理運営を明確にする。	可決
18号	設定	戸沢村農地耕作条件改善事業利用者使用料条例	国の補助事業である戸沢村農地耕作条件改善事業による水田畑地化の推進に当たり、園芸振興の維持的発展を図ることを目的に、施設利用者から応分の施設利用料を徴収する。	可決
19号	設定	戸沢村小規模企業振興基本条例	地域の経済や雇用を支える重要な存在である小規模企業対策の一層の推進を図ること及び村として事業の持続的発展を図っていく。	可決
20号	改正	戸沢村水道法施行条例の一部を改正する条例	水道法施行規則の一部改正に伴い、条例の整備をする。	可決

最上川舟下り懇談会に寄せて

議会運営委員長 加藤文明

3月定例会は、戸沢村の観光地である最上川舟下りを村内外に大きくPRする目的で取り組みを始め3年目になります。その中で舟中懇談会を開催し、1年目、2年目は舟下りを中心に観光振興について様々な提案を含め意見交換がなされました。

今年度は、芭蕉ライン観光・鈴木社長、JAもがみ中央戸沢村選出理事・加藤久和氏、営農販売部長・笹木透氏、戸沢村土地改良区理事長・黒坂文男氏、事務長・八嶽秀樹氏のご参加をいただき、農業情勢が大きく変化している現状を踏まえ農業振興策について活発な意見交換がなされた。

①飼料用米の取り組みについて

戸沢村畜産クラスター計画の利活用について取り組みの方針を掲げてい

②メガ団地構想の取り組みについて

戸沢地区経営体育成基盤整備事業での水田畑地化への取り組みを、国の「農地耕作条件改善事業」を活用し高収益作物栽培をハウス団地造成により実現し、県内外に誇れるメガ団地構想による1億円の農業収益の創出実現を目指していきます。

③災害復旧の現状について

昨年2回にわたる豪雨災害で農地に大きな被害が発生した。小規模災害復旧は自力

復旧を含め進んでいる。大規模災害については、国の局地的激甚災害の指定を受け、復旧工事の目的が大きく前進している。舟中での時間が1時間と短い中、出席者から丁寧な説明や活発な意見が出された。戸沢村の農業と観光事業の連携で更なる活発化を期待するものです。



舟中懇談会

みなさんの請願・陳情

事件名	提出者	請願・陳情の要旨	採択理由
日本政府が核兵器禁止条約に署名し、国会が批准することを求める請願	新庄市千門町1-39 生活協同組合共立社新庄生協地域理事会 議長 岸 昌子	核なき世界の実現は、被爆者、日本国民、そして全世界の人々の切なる願いです。地球上から核兵器をなくすことが唯一、平和への道であることを信じ、政府が核兵器禁止条約に署名、批准することを強く求めるため請願いたします。	核なき世界の実現のため。 採択
統計不正問題の真相究明と信頼回復を求める意見書提出の請願	最上郡戸沢村大字古口2939-2 戸沢村労農協議会 議長 影澤 智志	統計不正の事実解明と再発防止、信頼回復にむけ独立した第三者機関による徹底した検証を行い、総点検を行うこと。10年間で半減した国の統計職員を始め、必要な施策と財源措置の拡充を求めるため請願いたします。	統計不正の事実解明と再発防止、信頼回復のため。 採択
「国有林野管理経営法改正案」に反対する意見書提出の請願	最上郡戸沢村大字古口2939-2 戸沢村労農協議会 議長 影澤 智志	生物多様性の保全や洪水等の災害防止等、森林の多面的な公益機能の観点から、国有林野管理経営法改正案に反対するため請願いたします。	国有林野管理経営法改正等の内容精査を要するため。 継続審査

一般質問

今後の所信表明を！



富樫 義人 議員

問 5期目となる渡部村長の今後4年間の所信を伺いたい！

村長 行政の原点は、住民の負託に応え、住みよい社会に取り組み、行政の加でなく、住民のためにも村づくりを進めることを大事にしたい。さらに、村づくりは住民と行政の協働で、自立・自主性が高く、温かい心の通った村政運営が基本姿勢であると思うので、これらが大きい責務である。

問 昨年起きた豪雨災害で二度にわたる、蔵岡地区水害に対する治水対策の方向性について。



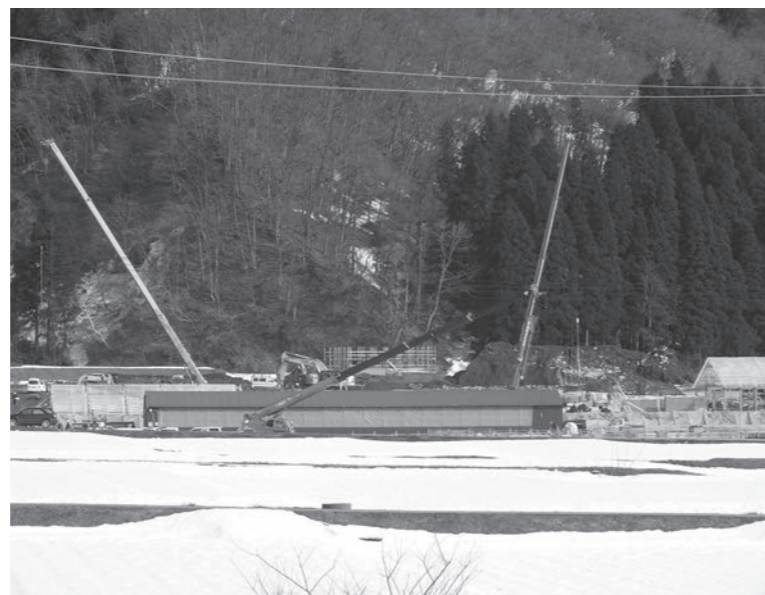
蔵岡地区住民への説明会

治水対策の方向性は

村長 3月17日に3回目となる蔵岡地区住民説明会の中で、方向性が示されると思いますが、地域の皆さんとの間で、どのように合意できるのかと思います。

問 皿嶋築堤の工事着工と、完成の目安を分かる範囲で伺いたい。

建設課長 今現在の情報では、30年度にJＲ側と協議が整い、31年4月着工の予定と聞いています。



建設中の養豚場

問 人口減少、若者の流出対策をどう考えているのか。

村長 人口減少社会・若者流出の問題は、頭が痛い話であり、これまで取り組んでいる戸沢流モデル住宅や、旧小学校跡地利用による住宅分譲地の整備や、集合住宅団地の取り組みも検討している。農業チャンスを生かし、

農家の所得向上や雇用に繋がる事業であり、村長が率先して足を運んでいただきたい。

村長 このことが村にとって、本当に大事な足掛かりなる事と思っており、慎重に実施して、村全体にイメージアップが図られ、しっかりとやることで地域発展に繋がるものと思っています。



村政を問い直す！ 5名の議員が一般質問

一般質問とは、議員個人が村の事務執行状況や将来に対する考え方などの報告や説明を村長に求め、村が村民のために適切な村政運営を進めているかをチェックするもの。

富樫義人議員
(7ページ)

●この度の村長選挙において、それぞれ選挙公約を示しているところですが、今回はその選挙公約を検証し質問させていただきます。その前に村長には、今後の4年間の所信を伺います。

加藤政一議員
(8ページ)

◆戸沢村行政機構改革の全容が示されましたが、過去の機構改革の課題を踏まえて、真の住民福祉向上を目的とした機構改革になっているのか伺います。

◆2017年の地方公務員法改正を受け、2020年4月から「会計年度任用職員」制度が施行されます。戸沢村役場で働く臨時職員が対象となりますが、処遇改善が図られるか伺います。

加藤臣一議員
(9ページ)

▲役場内の訪問者に対するの職員から挨拶や笑顔が少なくモラルに欠けている。サービス精神の意識の高揚を徹底して図るべきである。

▲職員の身分証明であるネームプレートの着用を即実行すべきである。全国1,783自治体の中で未着用は戸沢村だけであり、恥ずかしくないのか。

▲非正規公務員（臨時職員）が46人いる。全体の3分の1が臨時職員となる。この方々の給与及び、その他の待遇改善を早急に対応すべきと心得るがどうか。

田中 奨議員
(10ページ)

■基盤整備事業について

- ・南部地区や中部地区で基盤整備の要望がありますが、村はどのように考えているか。
- ・要望して完成まで何年ぐらいの見通しか。

■地域高規格道路（新庄酒田道路）の古口から草薙間はいつ頃整備終了となるか。

- ・国道47号が大雨、大雪等で通行止めになる状況は一日も早く解消すべきではないか。
- ・戸沢大蔵線のカード下が大雨のたびに冠水状態になる状況も早急に解消してもらいたい。当局の考えを伺います。

岡田孝一議員
(11ページ)

★長期財政計画について

- 一昨年的一般会計でも伺いましたが、村内人口が著しく減少する中、村債残高が益々膨らんでいる状況をどのように捉えているのか伺います。

★新たな任期4年間に、選挙公約の実現にどのような優先順位・意気込みで取り組もうとしているのか伺います。

★ふるさと納税への取り組み方針について

一般質問

職員のモラルを！



加藤 臣一 議員

問 役場内の訪問者に対して、職員からのあいさつや笑顔が少なくほとんどの住民は違和感を覚え呆れ果て庁舎内全体がモラルに欠けている。
 新採時に宣誓書を交わしていないのか。
 全職員にサービス精神の意識高揚を徹底して図るべきである。

村長 挨拶は人間としての基本である。人は生まれた時から挨拶を教えられ毎日会話の中で言葉を交わっていて、全職員は公僕である事を念頭に置き、すべての来客者に挨拶笑顔で対応するよう徹底して指導する。

問 職員の身分証明であるネームプレートの着用を即実行すべきである。
 全国自治体1783のある中で未着用は戸沢村だけ、恥ずかしくないのか。
 遅くとも新年度から着用すべきである。

村長 服務規程では職員は村民全体の奉仕者である。

問 職員は職責を自覚し、上司の職務上の命令に従い、誠実公正にかつ能率的に職務の遂行に専念しなければならず、ネームプレートは全職員に配布しており、全国ワースト1の汚名を返上する意味でも各課長を通して着用を徹底する。

問 臨時職員が46人いる。



住民生活係窓口（質問内容とは関係ありません）



役場職員が提出する宣誓書

全体の1/3であり、これに当たる職員の給料及び全体の待遇改善を早急に対処すべきです。
 全国自治体の3割の市町村で独自の改善に取り組んでいる。住民の声としても臨時職員に対するお褒めの言葉をよく聞く。戸沢村でも他に先駆け改善すべきである。

村長 臨時職員の給料は平成28年度改定し、更に31年度当初でも改定した予算を計上している。夏と冬の一時金も定額ですが支給されている。平成32年4月1日から国の方でも各種手当の支給や休暇の拡充が検討されている。

行政機構改革を問う！

一般質問



加藤 政一 議員

問 戸沢村行政機構の全容が示されましたが、過去の機構改革の課題を踏まえ、真の住民福祉の向上を目的とした改革になっているのか伺います。
村長 今回の機構改革で、危機対策課を廃止し、総務課内に危機管理室を新設し、管理体制の機能を強化していきます。
 また、総務課の企画部門と産業振興課の、商工観光部門を取り扱うまちづくり課を新設し、観光振興と今後の村づくりを見据えた「第5次総合計画」の策定に向けていきます。更に住民税務課に交通行政を移動し、交通災害共済の加入申請など窓口のワンストップ化が図られるなど、住民に分かりやすく、業務のしやす

い行政機構にしました。
問 4月から新しい行政機構で業務が行われますが、職員の不安を払拭し、移行していくのか。また、住民への周知はどうか考えているのか。
総務課長 職員には課長会議を通して周知をして

います。スムーズに業務ができるように、例年より早めて人事異動の内示を行い、住民には4月の広報で周知を行います。



新しい行政機構でスタート（新設されたまちづくり課）

問 2020年4月から、「会計年度任用職員制度」が施行されますが、役場で働く臨時職員が対象となりませんが、処遇改善がどう図られるのか。
村長 地方公共団体では、臨時・非常勤職員の任用根拠の明確化・適正化及び会計年度任用職員制度の整備が求められ、2020年4月1日の施行に向け準備が進められています。

「会計年度任用職員の整備」にあたり、常勤の職員との均衡及び国の非常勤職員等の均衡等に留意し、任用、勤務条件、休暇関係について検討し、その結果に基づき条例等の整備を図っていく事が求められています。
 本村においても平成31年中に条例の整備を図るため、具体的な勤務条件、休暇及び給与に関し、県内及び近隣町村の動向を踏まえつつ、期末手当をはじめとする各種手当の支給や休暇の拡充等を検討していきます。

現行の地方公務員法での位置づけ	
臨時的任用職員（第22条） 任命権は、緊急の場合、臨時の職に関する場合においては、6月を超えない期間で臨時的任用を行うことができる。	
改正地方公務員法での位置づけ	
会計年度任用職員を新設（第22条の2）	
第1項1号 短時間勤務の会計年度任用職員の任用根拠を明示	第1項2号 フルタイムの会計年度任用職員の任用根拠を明示
臨時的任用職員（第22条の3を新設） 臨時的任用職員は欠員が生じた場合に限定。フルタイムのみ。	

臨時職員処遇改善へ

一般質問

長期財政計画



岡田 孝一 議員

問 一昨年も一般質問でお聞きしましたが、村内人口が著しく減少する中、村債残高がますます膨らんでいる状況をどのように捉えているのか伺います。

村長 平成31年度一般会計当初予算では、歳入における村債は8億4千万円、歳入全体の20・5%で前年度より3億9千万円の増となっています。主な要因は、圃場整備、新保育所、学校建設などの償還が開始されるものです。さらに、大型事業の償還が開始され平成35年をピークに公債費が上昇する見込みです。しかしながら、国、県の補助事業を中心とした

村長 昨年の豪雨災害からの復旧復興を一番に、蔵岡地区の対策は即急に国・県に対し要望活動を展開し、他地区も同様に上部団体へお願いをし、方向性を頂いております。また、商工関係や農業振興さらには起業支援によ

施策を展開しながら、公債費の縮減に努めてまいります。

問 今年度予算化された役場庁舎の耐震化・野球場やサッカー場・若者センター・ほんほ館の改修更に今後の選挙公約に掲げた、昨年の水害に伴う完全復旧や定住促進のメゾネットタイプの集合住宅や畑作振興等々掲げられました。村の財政規模で投資的経費が限られている状況下、村民に対する後年度負担も考慮しつつ、今後の事業展開は将来像を見据え、集中と選択をすべきと思います。新たな任期期間に於いて公約実現に、どの様な意気込みで取り組むのか伺います。

産業振興課長 有利な補助事業があるのか今のところ不明であり、養豚場を拠点とした地域活性化事業は、村の一大事業というところで、農業振興や観光振興も含め、議員の

る地場産業の育成や雇用の施策、「定住対策」・「福祉と子育て」の環境整備を行う中で、村民が健康で笑顔あふれるよう教育面やスポーツ振興など、文化と歴史も大切とした「村民総参加による協働による」村づくりの公約実現のため、今後ともご理解ご協力をお願いします。

問 現在進行中の養豚クラスター事業に計画変更を行い、バーベキューハウスや直売所に関連した施設整備を実施するため補助事業を取り組めないのか。

村長 ぜひ、そういうことができるのであれば活用したい。今後計画変更を含め、国・県の情報を集め、有利なものがあれば検討していきたい。



建設工事中の養豚場

皆様も同じ方向に向かっていきます。クラスター計画の中で施設整備に使える補助事業があるかどうか検討させていただき、養豚場の関係で、活用したい。

した波及効果や相乗効果ということで、バーベキューハウスや直売所等の6次産業の関連で、いい補助金がないか模索していきたい。

基盤整備への要望

一般質問



田中 奨 議員

問 南部・中部地区で基盤整備の要望があります。村としての考えは。

村長 農作業の効率化の為や、農業後継者不足や農地の資産価値の向上と担い手への農地集積のためにも、必要な事と認識しており、事業規模にもよりますが、事業年度をずらすなど財政事情を考慮しながら、進めるべく検討していきます。

問 要望から完成までの期間は何年位の見通しか。

村長 採択に向けた調査計画・取りまとめに4年から5年、その後事業採択を受けて着手となると10年から15年と考えます。

問 大雨、大雪による国道47号線の通行止め解消には、高規格道路の全線開通が望まれるが、古口草薙間はいつ頃整備完成となるのか。

村長 国道47号線は、重要物流道路に指定される

見通しもあり、高規格道路の整備が進めば、通行止めも解消すると思えますので、国に対し早期事業化の要望を続けます。

問 県道戸沢大蔵線の角川アンダーが、大雨の度に冠水状態となり通行止

冠水状態の解消策は



角川への入口となる角川アンダー

問 新しく作る道路は地域の実情に沿って作るべきと思うので、住民の不安と不便な思いを解消するために、ぜひ地域高規格道路に戸沢大蔵線の取り付け道路を整備するよう要望してもらいたい。

村長 昨年の8月豪雨災害や国の国土強靱化対策

の動きなども考慮して、角川アンダーの冠水による通行規制の軽減について、県が対策を検討していますが、村としても高規格と関連する恒久的対策は無論の事ですので、県の中長期計画に県道も入っている中で、そ

道路づくりは地域のために

村長 将来的には、地域

めになるので、住民は不便な思いをしており、早急に解消してもらいたい。が、村の考えは。

期待しております。



高規格道路古口側

自治功労者を表彰

去る2月6日全国町村議会議長会第70回定期総会におきまして、町村議会議長として、7年以上在職し功労のあった早坂議長、町村議会議員として、15年以上在職し功労のあった加藤副議長・田中奨議員・加藤文明議員の3名に授与されました。

また、県勢発展の功績により、議長は2月27日に県知事表彰も受賞されております。これらの伝達を、3月定例会の初日に行い、早坂議長には、小野総務文教常任委員長が伝達し、続いて、加藤副議長・田中奨議員・加藤文明議員へ、早坂議長より伝達されました。今後とも皆様には、議会の先頭に立ってご指導をいただきます。



議員在職15年表彰受賞の3議員

早坂議長県知事表彰受賞



急ピッチで進む 災害復旧

昨年、8月の2度に亘る豪雨災害により、農地、農業用施設、林道等の被額は総額で4億2千6百75万5千円に達し、議会としても国、県の関係機関に対し、早急な復旧に向け、要望活動を行ってきました。日常業務を行いながら、次年度の作付けに希望が持てるように、被害査定に奮闘された関係職員の努力により、復旧工事が急ピッチで進められています。また、局地激甚災害の指定を受け、国の補助金が多くなりました。



災害県道戸沢大蔵線



災害小山下地区



災害本町(上台地区)



災害蔵岡地区

- 28日 専門職大学設置に係る県知事要望会
- 27日 例月出納検査
- 26日 最上県勢懇話会例会
- 25日 臨時議会・全員協議会
- 22日 戸沢保育所卒園式
- 20日 商工会青年部との議員懇談会
- 18日 最上広域市町村圏事務組合議会
- 16日 戸沢小学校卒業式
- 14日 戸沢中学校卒業式
- 12日 最上広域市町村圏事務組合議運
- 11日 本会議(最終日)
- 8日 舟中懇談会【舟下り議会】各常任委員会
- 7日 予算特別委員会(一般会計)
- 6日 3月定例会(本会議)
- 1日 最上地区広域連合3月議会

3月

- 26日 最上地区広域連合議運・全協例月出納検査
- 25日 最上広域市町村圏事務組合議員懇談会(予算説明会)
- 24日 議長選挙投票日
- 20日 最上広域市町村圏事務組合議員懇談会

- 19日 村長選挙(告示)
- 15日 県町村議会議長会第70回定期総会
- 14日 県後期高齢者医療広域連合2月定例会(議員全員協議会)
- 13日 県監査委員協議会第22回定期総会・町村監査委員職員研修会
- 12日 総務文教常任委員会
- 10日 第5回角川雪回廊物語
- 5日 臨時会(議員全員協議会)
- 1日 文部科学大臣表彰祝う会(前教育長小野和夫氏)

2月

- 29日 最上県勢懇話会
- 25日 新庄河川事務所長へ要望会
- 22日 例月出納検査
- 18日 新春のつどい(村)
- 15日 議会広報委員会
- 7日 新庄商工会議所賀詞交換会
- 5日 戸沢村建設職工組合新年会

1月

議会年誌(1月~3月)